

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度 緑川ダム操作規則検討業務
業 務 概 要	洪水調節実績の整理 1式 緑川ダム変更操作ルール of 整理 1式 緑川ダム変更操作ルール of 水位低減効果算出 1式 異常洪水時防災操作方法の検討 1式 放流の原則の検討 1式 船津ダム操作ルール of 検討 1式 ダムコン変更箇所 of 検討 1式 緑川ダム操作規則・操作細則等 of 改定案作成 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 福井 貴規
契 約 年 月 日	令和 6 年 6 月 1 7 日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名 2 - 4 - 1 2
契 約 金 額	1 9 , 9 7 6 , 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	1 9 , 9 7 6 , 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	緑川水系
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6 年 6 月 1 8 日
履 行 期 間 (至)	令和 7 年 2 月 2 8 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度 緑川ダム操作規則検討業務
2. 履行場所 緑川水系
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名2丁目4番12号
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電 話：（092）714－2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、緑川ダムの洪水調節操作について現状の河川改修進捗状況や整備計画変更を踏まえた検討を行い、今後の適切なダム管理に資することを目的とする業務である。

2) 業務の内容

- ・洪水調節実績の整理
- ・緑川ダム変更操作ルールの整理
- ・緑川ダム変更操作ルールの水位低減効果算出
- ・異常洪水時防災操作方法の検討
- ・放流の原則の検討
- ・船津ダム操作ルールの検討
- ・ダムコン変更箇所の検討
- ・緑川ダム操作規則・操作細則等の改定案作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書が提出され、3者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち3者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ【緑川ダムの洪水調節ルール変更に伴う、ダム操作への影響を検討するうえでの留意点】に係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「緑川ダムの洪水調節ルール変更に伴う、ダム操作への影響を検討するうえでの留意点」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、総合的に最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

（契約理由書作成者）

熊本河川国道事務所 流域治水課長